【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2004-322452(P2004-322452A)
【公開日】平成16年11月18日(2004.11.18)
【年通号数】公開・登録公報2004-045
【出願番号】特願2003-119780(P2003-119780)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ２９Ｃ　45/06
【ＦＩ】
　Ｂ２９Ｃ　45/06

【手続補正書】
【提出日】平成16年9月22日(2004.9.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項５】
　上記第２の油圧シリンダのピストン移動の制御手段は、ピストンロッドのシリンダ外端部に設けた検知駒と、シリンダ外のピストンロッドのストローク範囲に、移動間距離と同一の間隔を空けて配設した前後一組の近接スイッチとからなることを特徴とする請求項１～４の何れかに記載の回転式射出成形機のターンテーブル進退移動機構。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
　図２において、１３は上記油圧リンダ１０を第１の油圧シリンダとして設けた油圧力発生用の第２の油圧シリンダで、ピストンロッド１４を両端壁に貫挿した両ロッド形のピストン１５を備え、そのピストン１５により区画形成された前室１３ａと後室１３ｂを、第１の油圧シリンダ１０のピストン８により区画形成された前室１０ａと後室１０ｂにそれぞれ油圧路１６，１７により接続してある。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
　２０は第２の油圧シリンダ１３の駆動装置で、上記ピストンロッド１４に軸端を連結して同一軸線上に設けたボールネジ軸２１と、そのボールネジ軸２１と螺合して、図示しないハウジング内の軸受部材２２に回転自在に設けた定位置のボールナット部材２３と、ハウジング内に据え付けたサーボモータ等の電動モータ２４と、ボールナット部材２３と電動モータ２４の駆動軸に取付けたプーリ２５，２６に掛け設けたタイミングベルト２７とからなる。